



毎時間、自分の考えを言葉で表現し、振り返りを行いました。問題解決の過程を整理し、既習事項と結び付けながら、自分の考えをもって問題を解決したり、グループで話し合ったりする態度を育成していきます。「学びの成果を把握する」（調整）、「学びを共有し、自分の考えを深める」（協働）場面を仕組みました。

振り返りシート



OPPシートへ



振り返りの共有

【学びの成果を把握する】

単元前半の振り返りには、「振り返りの視点」を明確にした振り返りシートを使用しました。「樹形図を使えた」「組合せを変えればできる」など、獲得した知識や技能に関する内容が多く見られました。

学習を進める中で、単元前半で学んだ内容を活用し、条件に合う方法を見つけたり、重なりを整理したりする姿がありました。また、「前回と違うところがあった」など、前時と本時の学習を比較する児童もいました。

【学びを共有し、自分の考えを深める】

振り返りを全体で共有することで、友達の振り返りと比較し、「自分が今どんなことを身に付けているか、どこでつまづいているか」に気付くことができました。

また、1人1台端末で簡単に他者の振り返りを参照することで、「振り返り方」を学ぶ児童も多くいました。図を描いたり、ノートの写真を撮って貼り付けたりするなど、振り返りの質を高め、それを学習に生かすことができました。

教師の働きかけ

単元の初めと終わりに、同じ問いに取り組む場を設けました。目指す姿を明確にし、単元終了時に再び同じ問題を解かせることで、解答や考え方の変化（自己の成長）に気づけるようにしました。

毎時間の導入時に、前時の自分の振り返りを見返す時間を設けました。また、深い気づきや学びをつなげている児童の振り返りを電子黒板に映し、全体で共有することで、学びを調整することの価値付けをしました。

児童の振り返りに対して、教師が児童の考えや粘り強く学習に取り組む過程に注目し、コメント（価値づけ）を行うことで、児童が学習のつながりを自覚できるようにしました。

振り返りシート（OPPシート）を活用し、毎時間、学習の振り返りを行ったことで、前時との違いに気付き、「自分の考えを見直す姿」「友達の考えに学び、整理の仕方を工夫する姿」「『前はできなかったけれど、今はできた』と成長を実感する姿」が見られました。また、児童の振り返りから、教師が児童一人一人の学習状況を把握することもできました。

※OPPシートは、児童が一枚の用紙に授業前・中・後の学習履歴を記録し、自分の学習を振り返り、自己評価を行うためのシートです。

